



**HOKKAIDO ROAD MAINTENANCE**

## 2020 年度 環境経営レポート

(対象期間： 2020 年4月1日～ 2021 年3月31日)



作成日： 2021年4月1日

## 目 次

項 目	ページ
あいさつ	1
環境経営方針	1
組織の概要	2～3
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
環境経営計画の取組実績に対する評価	6
環境関連法規の違反・訴訟の有無	7
中長期計画書	8～13
代表者による全体の評価と見直し・指示	14

1970年創業以来、道路維持管理を中心に事業を進めてまいりました。この50年間の歩みの中で、高度成長期に作られた道路・上下水道の清掃・維持管理を行ってきましたが、現在は、耐用年数を迎え、更新における費用・掘削に取り壊し等で発生する廃棄物・道路交通の渋滞等が社会問題となっています。

当社は、維持管理を通じて蓄積した技術を生かし、取壊して新しく構築するのではなく、補修・補強の技術を提供し、ライフラインの寿命を大幅に伸ばし、不要な廃棄物の削減・コストの削減を実現します。

## 環境経営方針

### <環境経営理念>

当社は、ますます深刻化する地球温暖化や、資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、事業活動における環境負荷の低減を図るために、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

### <環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 受託廃棄物の適正処理を行い、廃棄物の削減に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 有害物質の適正管理に努めます。
6. 環境に配慮した管更生工法の工事に努めます。
7. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日：2020年4月1日

代表取締役社長 **朱野 孝之**

(1) 名称及び代表者名

北海道ロードメンテナンス株式会社  
代表取締役社長 米野 孝之

(2) 所在地

本社 札幌市中央区北1条東12丁目22番地  
 発寒事業所 札幌市西区発寒15条12丁目1-25  
 真駒内事業所 札幌市南区常盤417番地  
 北見事業所 北見市東相内町110番17  
 北広島中間処理場 北広島市北の里27-3

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者	常務取締役	吉持 俊則	TEL:011-241-1692
環境事務局長	総務部長	大淵 敬	TEL:011-241-1692
環境副事務局長	工務部次長	太田 克之	TEL:011-241-1692

(4) 事業内容

廃棄物収集運搬・処分業、道路清掃業、道路維持・管理業、管渠・側溝雨水枡清掃業  
 TVカメラ調査・管更生業、除排雪業、災害支援活動  
 ・事業に係る許可

許可内容	許可年月日	許可番号	事業の範囲
	許可の有効期限		
建設業許可通知書	平成28年9月5日	北海道知事許可 (特-28)石第04548号	土木工事業とび・土工工事業、舗装工事業 塗装工事業・水道施設工事業
	令和3年10月9日		
一般廃棄物収集 運搬業許可(札幌市)	令和3年2月7日	札性一廃伐根許可 第218号	伐採物・伐根等の収集運搬に限定
	令和5年2月6日		
産業廃棄物 収集運搬業許可	平成31年4月6日	第00100013711号 積替保管なし	汚泥、廃プラスチック、木くず、紙くず、繊維くず、がれき類 ガラス・コンクリート・陶器くず、廃油、廃酸、廃アルカリ、金属くず、鋳さい
	令和6年4月5日		
産業廃棄物 処分業許可	令和1年5月30日	第00120013711号 北海道許可	天日乾燥(汚泥)、脱水(汚泥)
	令和4年6月10日		
	令和3年1月17日	第05120013712号 札幌市許可	天日乾燥(汚泥)
	令和8年1月16日		
	平成29年6月5日	第05200013713号 旭川市許可※	天日乾燥(汚泥)
令和4年5月26日			

※旭川市許可施設については、工事受注時に借受施設となる為、常設施設ではない。

(5) 産業廃棄物収集運搬業

・収集運搬車両

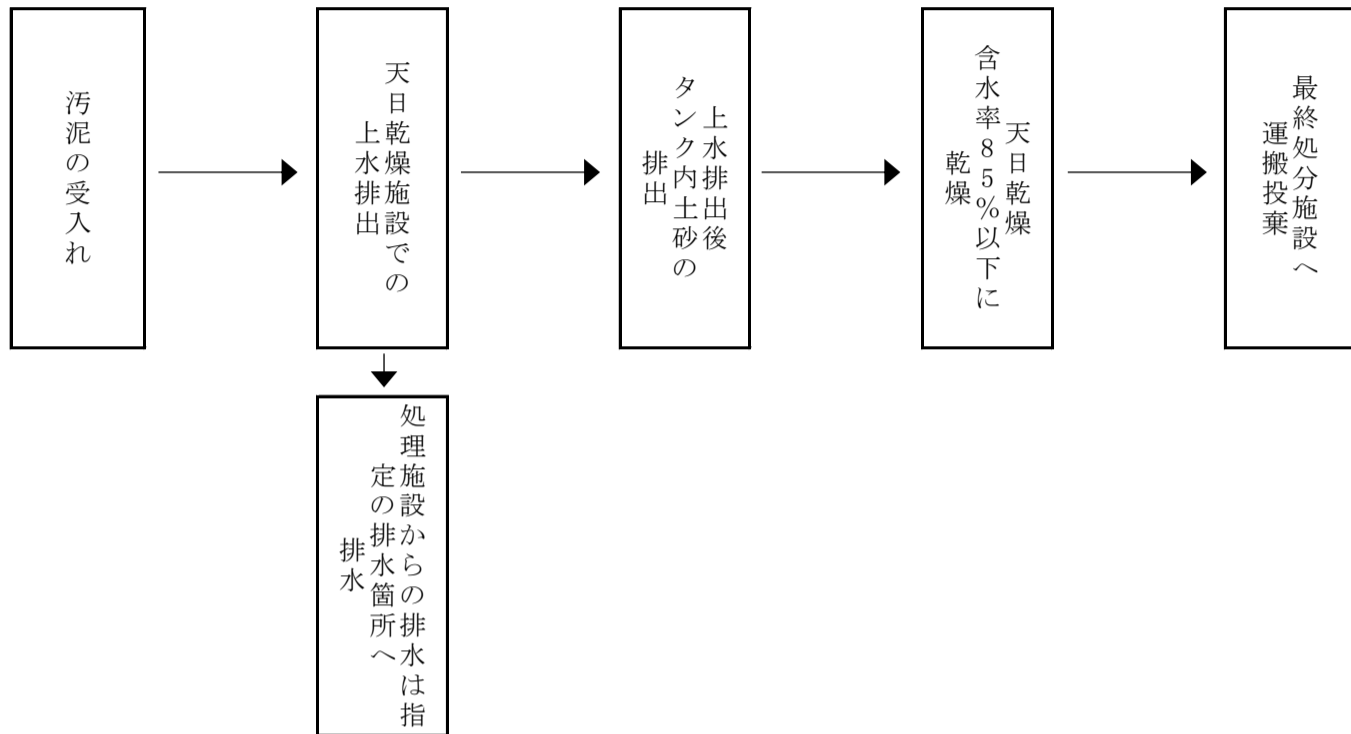
車体の形状	台数
清掃車	15台
ダンプ	4台
作業車	13台
計	30台

(6) 産業廃棄物処分業

・中間処理施設

施設の種類の	汚泥の天日乾燥施設	汚泥の天日乾燥施設	汚泥の天日乾燥施設
事業の範囲	天日乾燥(汚泥)	天日乾燥(汚泥)	天日乾燥(汚泥)
設置年月日	平成16年10月1日	平成26年3月12日	平成14年9月25日
設置場所	北見市東相内町110番17号	北広島市北の里27番3	札幌市西区発寒15条12丁目1番25号
処理能力	3.6m <sup>3</sup> /日(24時間) 0.15m <sup>3</sup> /時間	29.4m <sup>3</sup> /日(24時間) 1.23m <sup>3</sup> /時間	3.0m <sup>3</sup> /日(24時間) 0.125m <sup>3</sup> /時間

・中間処理工程



(7) 事業の規模

売上高 2,532,27 万円

	本 社	発寒事業所	真駒内事業所	北見事業所	北広島中間処理場	合計
従業員 名	19 名	15 名	5 名	5 名	1 名	45
延べ床面積 m <sup>2</sup>	1366.08 m <sup>2</sup>	5855.77 m <sup>2</sup>	161 m <sup>2</sup>	139.94 m <sup>2</sup>	112.7 m <sup>2</sup>	6269.41

受託した産業廃棄物の処理量

収集運搬量	3,332 t		
中間処理量	2,313 t	うち再資源化量	t
最終処分量	1,019 t		
中間処理後の産廃の処分量	t	うち再資源化量	t
車種	台数	備 考	
乗用車	45 台	営業車・パトロール車	
4t～20t大型車両	75 台	作業車・夏作業機械	
特殊車両	48 台	冬作業機械	
合計	168 台		

(8) 事業年度 4月1日 ～ 3月31日

□ 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 : 北海道ロードメンテナンス株式会社  
 対象事業所 : 本 社 : 発寒事業所 : 真駒内事業所 : 北見事業所 : 北広島中間処理場  
 対 象 外 : なし  
 活 動 : 廃棄物収集運搬・処分業、道路清掃業、道路維持・管理業、管渠・側溝雨水柵清掃業  
 TVカメラ調査・管更生業、除排雪業、災害支援活動

□事業や製品(商品)の紹介

管渠清掃工事



管更生工事



災害支援活動

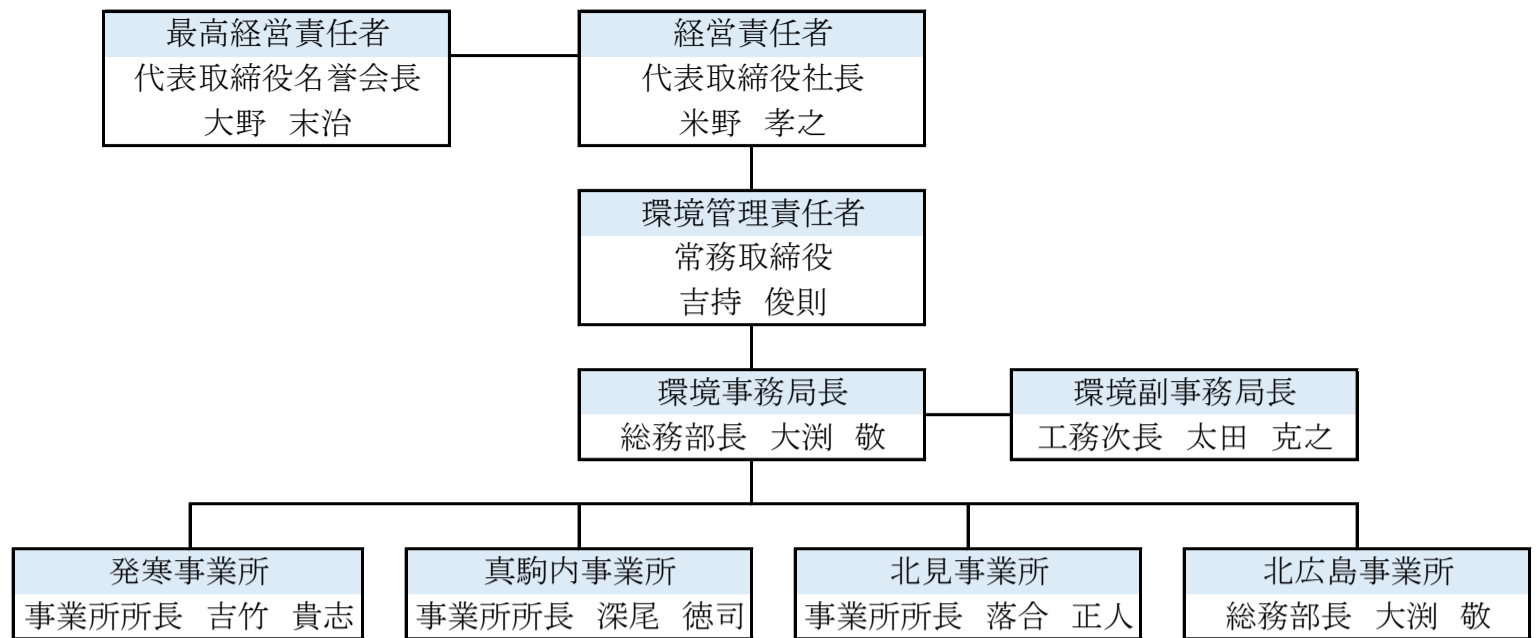


地域貢献活動



保有車両





	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境経営方針の策定・見直し</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、環境事務局長の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
環境事務局長	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営計画の審議</li> <li>環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
内部監査チーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に関する内部監査の計画</li> <li>環境に関する内部監査の実施・報告</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

□環境経営計画の取組実績に対する評価

注:達成状況 ◎十分できている ○ほぼできている △未だ不十分である ×できていない

環境計画	具体的項目	達成状況	取組結果の評価
電力による 二酸化炭素削減	・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房24℃)	◎	昨年に比べると、全体的には2%の削減目標に対して達成はしているが、個別に検証した結果は業務量に応じて未達成の事業所もあるが、まめな入り切りを行うなどの努力を行い、全事業所での削減を目指したい。
	・不要照明の消灯	◎	
	・OA機器の節電モードの各様	◎	
	・使用時以外の消灯(トイレ・更衣室・会議室・書庫等)	○	
	・外出時、休憩時間の消灯	△	
	・蛍光灯は順次LED化を進める	○	
	・夏季軽装、冬季重ね着の工夫で過剰な冷暖房の使用を控える	○	
	・熱の出入りを調整する	○	
	・断熱材の採用	○	
自動車燃料による 二酸化炭素削減	・社有車の省エネ運転、点検整備の励行	◎	ここに関しては昨年とほぼ横這いだが、業務量に応じて多少の増減はあるが、社有車を使用する際のエコドライブの更なる徹底を呼びかけたい。
	・アイドリングストップの実施	◎	
	・急発進、急加速の禁止	○	
	・過積載の厳禁	◎	
	・ハイブリットカーの導入	△	
一般廃棄物の削減	・分別の徹底	◎	一般廃棄物に関しては、実績評価は行っていないが、各項目の徹底を図り、今後は数値で評価を行えるようにしたい。まだ改善点は多々あると思える。
	・シュレッダー廃紙のリサイクル化	◎	
	・帳票見直しによる印刷物の削減	△	
	・保存期間切れ書類や身の回りの不要な書類の更なる分別	○	
	・ペーパーレス、両面コピーの徹底	△	
	・使い捨て製品の購入抑制	△	
	・新聞紙、段ボール等の使用済用紙のリサイクル	△	
建設副産物の 再資源化率の向上	・分別の徹底	○	排出量の削減や適正な処理を行い、今後も向上に取り組む。
	・再資源化先の開拓	○	
受託廃棄物の リサイクル率の向上	・排出先の分別徹底の依頼	○	顧客に対しての依頼の徹底うを行い向上に努める。
	・選別の徹底	○	
	・リサイクル先の開拓	○	
水道水の削減	・節水シールの貼り付けとポスター掲示	◎	水道の使用量については業務量に比例するので、今年度の目標については数値的には達成にはなっていないが、出来る事の徹底については今後も行って行きたい。
	・節水弁取り付け	△	
	・自動水栓取り付け	○	
	・トイレに擬音装置取り付け	○	
	・節水の周知徹底	○	
	・洗車時間の短縮と節水	○	
	・水漏れ点検の実施	○	
溶剤使用量削減 (あるいは適正管理)	・発注量の適正化	◎	無駄のない適正発注、使用を心掛ける。
	・保管の適正管理	◎	

※次年度も同様の取り組み内容を継続します。また、未達成については達成出来る様に今後も努める事。



□環境関連法規の違反・訴訟の有無

主な適用法規等	要求事項	順守事項
<b>大気汚染</b>		
オフロード法	・建設機械の排出ガス対策	・適合機械の使用
排出ガス対策型建設機械普及促進に関する規定	・基準指定機械の使用	・対策型機械の使用
労働安全衛生法(酸欠則)	・酸欠・硫化水素ガスの基準値の確認	・基準値の測定
労働安全衛生法(特化則)	・第2類物質の適正管理	・管理状況徹底
<b>水質汚濁</b>		
水質汚濁防止法	・貯油施設等からの油流出事故	・安全訓練の実施
<b>騒音・振動・悪臭</b>		
騒音規制法	・特定建設作業(騒音)	・低騒音型機械の使用
振動規制法	・特定建設作業(振動)	・知事への届け出
<b>廃棄物処理</b>		
廃棄物処理法	・事業系廃棄物の発生(一般廃棄物)	・分別、保管、委託契約の確認
廃棄物処理法	・産業廃棄物の発生(産業廃棄物)	・種類、発生量推定の適切性の確認
廃棄物処理法	・産業廃棄物の委託等(産業廃棄物)	・委託契約、処理状況の確認
廃棄物処理法	・産業廃棄物の管理票(産業廃棄物)	・マニフェストの発行、管理
廃棄物処理法	・産業廃棄物の収集・運搬(産業廃棄物)	・対策車輛の使用、マニフェストの管理
札幌市廃棄物の減量及び処理に関する条例	・大規模建築物所有者等の義務	・廃棄物管理責任者の選任
<b>化学物質管理</b>		
PRTR法	・化学物質の排出及び移動	・少量の為、適正保管
<b>省エネ・温暖化防止・オゾン層保護</b>		
フロン排出抑制法	・第1種特定製品の廃棄	・適正処理(引取証明書)
<b>火災・爆発事故</b>		
消防法	・危険物の取扱い	・各種許可書の提出、消化器の設置、保安検査の記録の保管
高圧ガス保安法	・溶接ガスの保管法	・転倒防止等

環境関係法令について遵守状況を確認したところ、違反はありませんでした。

また、関係機関からの違反の指摘、住民からの苦情、訴訟は過去にもありません。

# 中長期計画書

## ○環境負荷の状況と目標

(基準年:2019年4月1日～2020年3月31日)

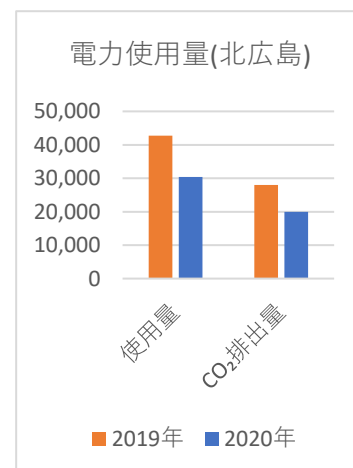
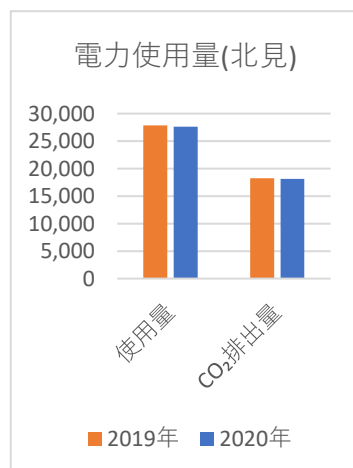
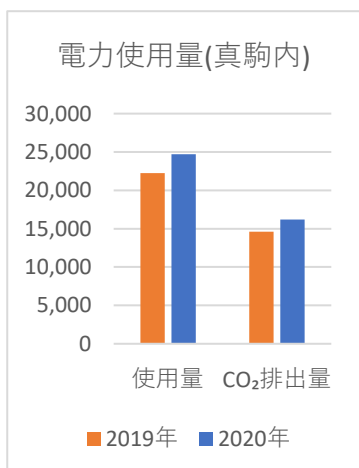
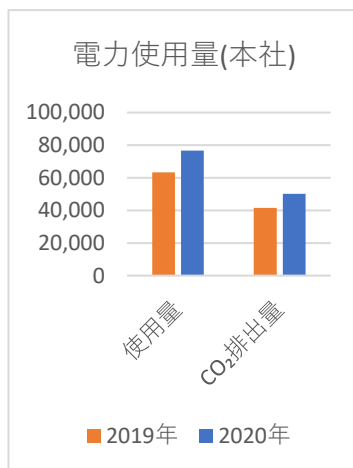
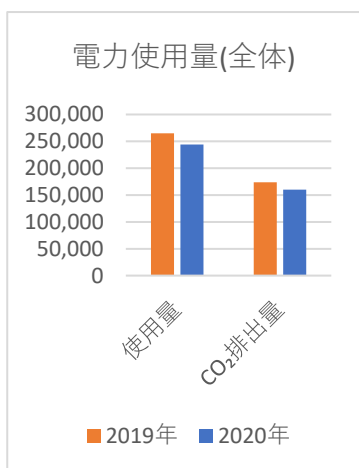
### 電力使用量(二酸化炭素排出量)

本社・発寒事業所・真駒内事業所・北見事業所・北広島事業所(kg-CO<sub>2</sub>)

二酸化炭素排出係数 0.656

事業所名	kWh	2019年 (基準年)	2020年 (2%削減)	2021年 (2%削減)	2022年 (2%削減)	2023年 (2%削減)
	kg-CO <sub>2</sub>					
全体	使用量	265,204	244,005			
	CO <sub>2</sub> 排出量	173,974	160,067			
本社	使用量	63,263	76,616			
	CO <sub>2</sub> 排出量	41,501	50,260			
発寒事業所	使用量	109,078	84,683			
	CO <sub>2</sub> 排出量	71,555	55,552			
真駒内事業所	使用量	22,258	24,712			
	CO <sub>2</sub> 排出量	14,601	16,211			
北見事業所	使用量	27,866	27,631			
	CO <sub>2</sub> 排出量	18,280	18,126			
北広島中間処理場	使用量	42,739	30,363			
	CO <sub>2</sub> 排出量	28,037	19,918			

※前年度に対して2%削減目標とする



# 中長期計画書

## ○環境負荷の状況と目標

(基準年:2019年4月1日～2020年3月31日)

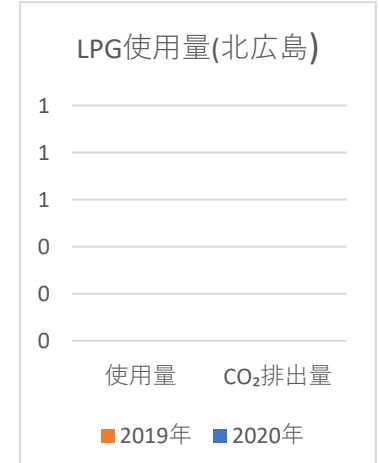
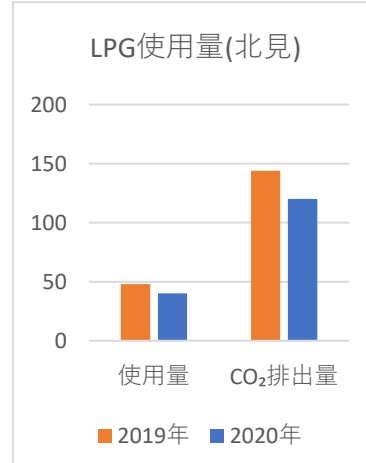
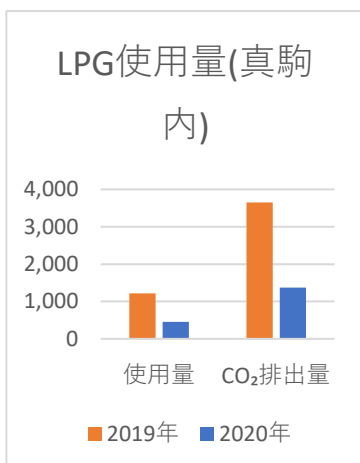
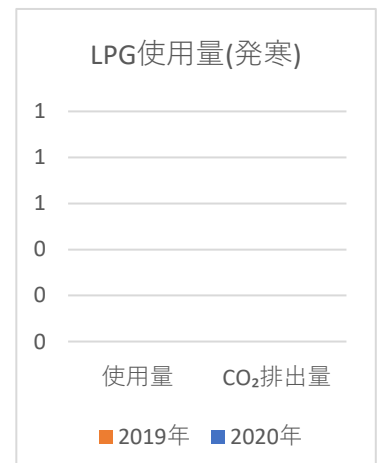
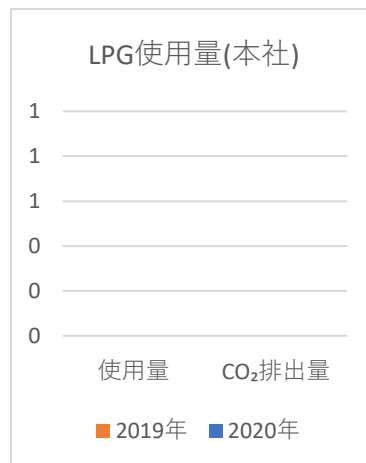
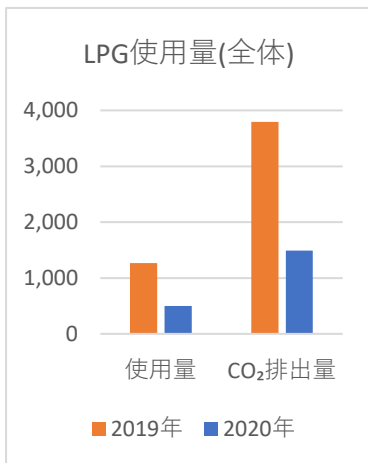
### LPG使用量(二酸化炭素排出量)

本社・発寒事業所・真駒内事業所・北見事業所・北広島事業所(kg-CO<sub>2</sub>)

二酸化炭素排出係数 3.0

事業所名	m <sup>3</sup>	2019年 (基準年)	2020年 (2%削減)	2021年 (2%削減)	2022年 (2%削減)	2023年 (2%削減)
	kg-CO <sub>2</sub>					
全体	使用量	1,265	497			
	CO <sub>2</sub> 排出量	3,795	1,490			
本社	使用量	0	0			
	CO <sub>2</sub> 排出量	0	0			
発寒事業所	使用量	0	0			
	CO <sub>2</sub> 排出量	0	0			
真駒内事業所	使用量	1,217	457			
	CO <sub>2</sub> 排出量	3,651	1,370			
北見事業所	使用量	48	40			
	CO <sub>2</sub> 排出量	144	120			
北広島中間処理場	使用量	0	0			
	CO <sub>2</sub> 排出量	0	0			

※前年度に対して2%削減目標とする



# 中長期計画書

## ○環境負荷の状況と目標

(基準年:2019年4月1日～2020年3月31日)

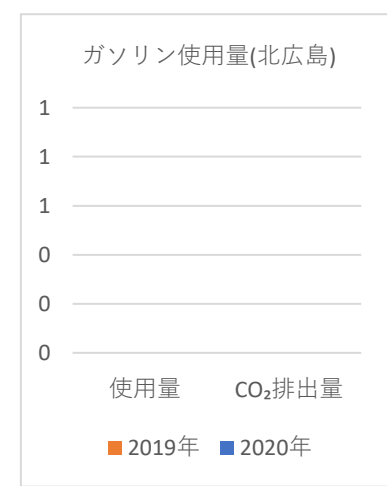
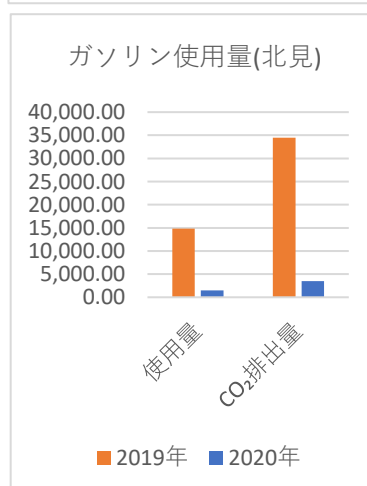
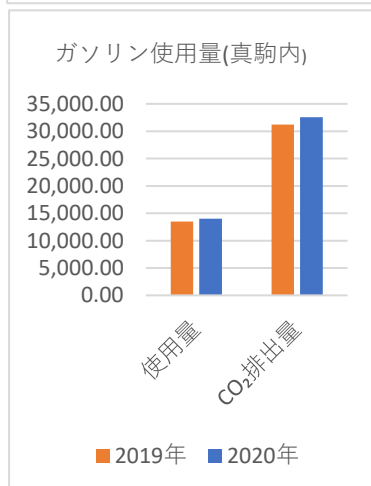
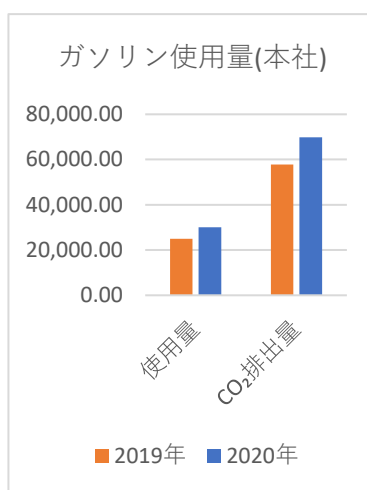
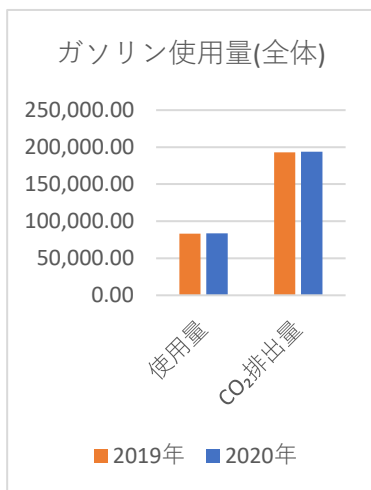
ガソリン使用量(二酸化炭素排出量)

本社・発寒事業所・真駒内事業所・北見事業所・北広島事業所(kg-CO<sub>2</sub>)

二酸化炭素排出係数 2.32

事業所名	ℓ	2019年 (基準年)	2020年 (2%削減)	2021年 (2%削減)	2022年 (2%削減)	2023年 (2%削減)
	kg-CO <sub>2</sub>					
全体	使用量	83,248.00	83,540.45			
	CO <sub>2</sub> 排出量	193,135	193,814			
本社	使用量	24,930.30	30,098.02			
	CO <sub>2</sub> 排出量	57,838	69,827			
発寒事業所	使用量	29,989.80	24,578.57			
	CO <sub>2</sub> 排出量	69,576	57,022			
真駒内事業所	使用量	13,459.51	14,033.24			
	CO <sub>2</sub> 排出量	31,226	32,557			
北見事業所	使用量	14,868.39	1,504.07			
	CO <sub>2</sub> 排出量	34,495	3,489			
北広島中間処理場	使用量	0	0			
	CO <sub>2</sub> 排出量	0	0			

※前年度に対して2%削減目標とする



# 中長期計画書

## ○環境負荷の状況と目標

(基準年:2019年4月1日～2020年3月31日)

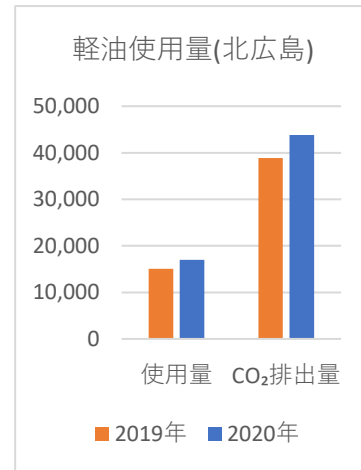
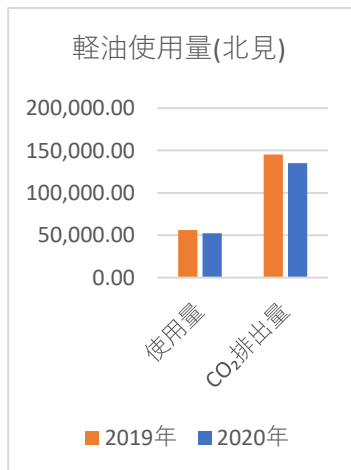
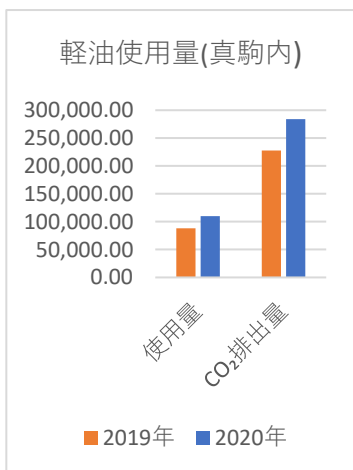
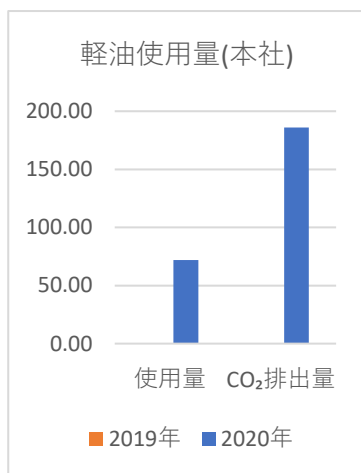
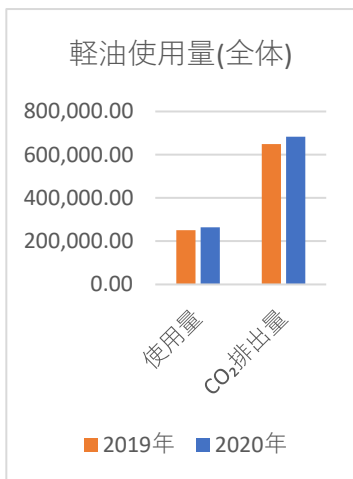
### 軽油使用量(二酸化炭素排出量)

本社・発寒事業所・真駒内事業所・北見事業所・北広島事業所(kg-CO<sub>2</sub>)

二酸化炭素排出係数 2.58

事業所名	ℓ	2019年 (基準年)	2020年 (2%削減)	2021年 (2%削減)	2022年 (2%削減)	2023年 (2%削減)
	kg-CO <sub>2</sub>					
全体	使用量	251,690.79	264,904.08			
	CO <sub>2</sub> 排出量	649,362	683,453			
本社	使用量	0.00	72.00			
	CO <sub>2</sub> 排出量	0	186			
発寒事業所	使用量	92,135.90	85,347.83			
	CO <sub>2</sub> 排出量	237,711	220,197			
真駒内事業所	使用量	88,207.90	110,102.47			
	CO <sub>2</sub> 排出量	227,576	284,064			
北見事業所	使用量	56,292.50	52,405.01			
	CO <sub>2</sub> 排出量	145,235	135,205			
北広島中間処理場	使用量	15,054	16,977			
	CO <sub>2</sub> 排出量	38,841	43,800			

※前年度に対して2%削減目標とする



# 中長期計画書

## ○環境負荷の状況と目標

(基準年:2019年4月1日～2020年3月31日)

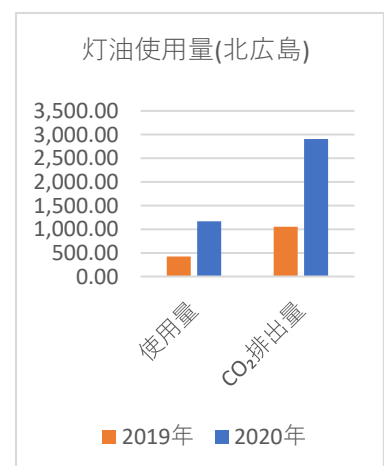
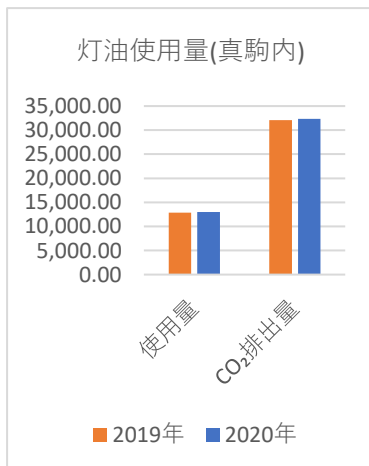
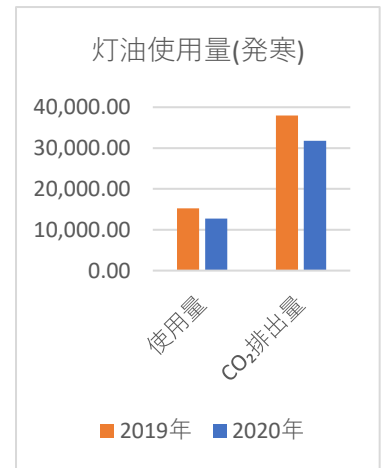
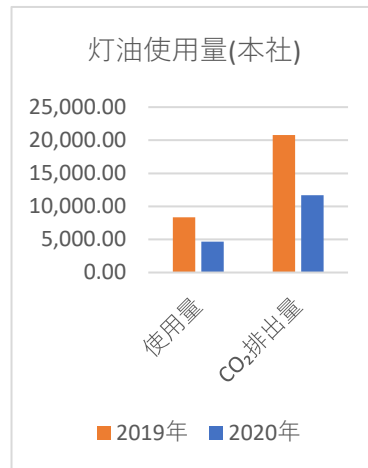
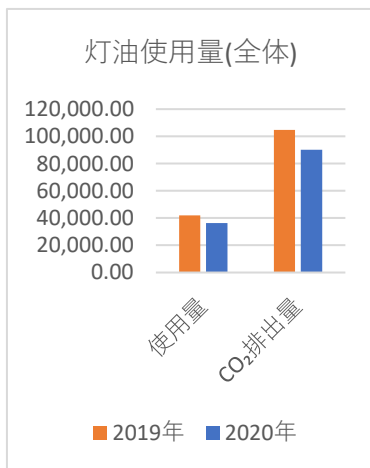
灯油使用量(二酸化炭素排出量)

本社・発寒事業所・真駒内事業所・北見事業所・北広島事業所(kg-CO<sub>2</sub>)

二酸化炭素排出係数 2.49

事業所名	ℓ	2019年 (基準年)	2020年 (2%削減)	2021年 (2%削減)	2022年 (2%削減)	2023年 (2%削減)
	kg-CO <sub>2</sub>					
全体	使用量	42,064.79	36,250.02			
	CO <sub>2</sub> 排出量	104,741	90,263			
本社	使用量	8,355.20	4,690.50			
	CO <sub>2</sub> 排出量	20,804	11,679			
発寒事業所	使用量	15,258.84	12,772.42			
	CO <sub>2</sub> 排出量	37,995	31,803			
真駒内事業所	使用量	12,883.55	12,980.50			
	CO <sub>2</sub> 排出量	32,080	32,321			
北見事業所	使用量	5,144.00	4,640.00			
	CO <sub>2</sub> 排出量	12,809	11,554			
北広島中間処理場	使用量	423.20	1,166.60			
	CO <sub>2</sub> 排出量	1,054	2,905			

※前年度に対して2%削減目標とする



# 中長期計画書

## ○環境負荷の状況と目標

(基準年:2019年4月1日～2020年3月31日)

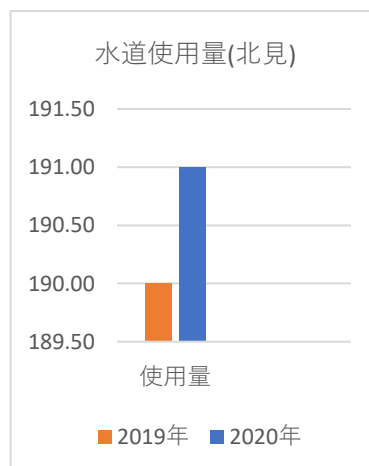
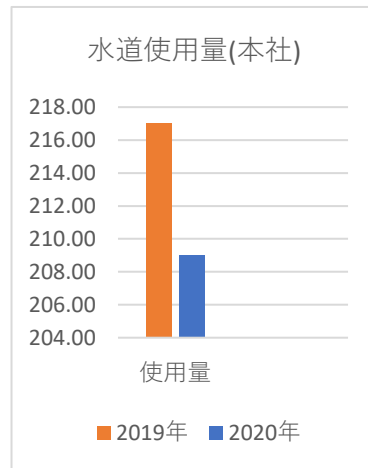
水道使用量(二酸化炭素排出量)

本社・発寒事業所・真駒内事業所・北見事業所・北広島事業所(kg-CO<sub>2</sub>)

### 二酸化炭素排出係数

事業所名	m <sup>3</sup>	2019年 (基準年)	2020年 (2%削減)	2021年 (2%削減)	2022年 (2%削減)	2023年 (2%削減)
	全体	使用量	1,545.00	1,616.00		
本社	使用量	217.00	209.00			
発寒事業所	使用量	1,104.00	1,216.00			
真駒内事業所	使用量	0.00	0.00			
北見事業所	使用量	190.00	191.00			
北広島中間処理場	使用量	34.00	0.00			

※前年度に対して2%削減目標とする



## 代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示の結果

・環境経営方針に掲げてる環境負荷の低減を図るために、従業員一丸となって継続的に取り組んでいます。その中で当社の課題である技術職員の増員、管更生工法の技術者の育成に取り組み、今後発注されるであろうインフラ整備の公共事業に対しその道のエキスパートを育てる事により工事にて排出される廃棄物の減少や作業時間の縮小による燃料の削減、Co2 の削減が可能になると思われれます。また、この管更生工法を受注、施工していく事により道路の掘削によるアス殻やコン殻の発生を抑え、廃棄物の削減にもなると考えます。

その他にも冬期除雪作業に使用する大型機械の使用方法を明確にする事により燃料の削減、Co2 の排出量の削減など地球規模での貢献も可能であると考えます。よって、今年度の取組内容を見直す必要性は無しと考えます。

しかし、今後については更なる消費燃料の削減や Co2 の削減を工夫や努力にて削減目標達成する事を社員一丸となり実施します。